

レトロな町並みを
染める色彩

花とたどる美馬市の旅



FEEL! MIMA CITY TOUR 美馬市で徳島を感じる旅



四季折々の 花とともに 美馬を旅しよう

美馬市は、豊かな自然と数多くの文化財が残る歴史情緒あふれるまち。古墳時代の遺跡や由緒ある寺社から、江戸時代以降の商家が建ち並ぶ「うだつの町並み」、昭和の空気を感じる「オデオン座」など、観光名所を巡れば古代から近代まで千年を超える歴史の変遷を感じることができます。この風情ある町並みを染めるのは、色鮮やかに咲く花々。季節毎に市内各地で多種多様な花が咲き誇り、花を楽しむイベントも開催されています。旬の花を追って美馬市を訪れ、レトロな町並みとともにその時期にしか味わえない色彩美を感じてください。

PICKUP CONTENTS コンテンツの魅力

HISTORY



うだつの町並み

脇城の城下町として栄え、藍の集散地として繁栄した町。江戸中期から昭和初期にかけての歴史的建造物が今も残り、特に「うだつの町並み」は、本瓦葺きで漆喰塗りの防火壁が特徴。市指定文化財「藍商佐直 吉田家住宅」では、毎年1月に華道家・假屋崎省吾氏による華道展「うだつをいける」が開催され、期間中には美しく華やかな生け花作品を堪能することができます。

SUSTAINABLE



美馬和傘

美馬の伝統工芸品、美馬和傘。昭和20年頃には200軒以上が製造し、最盛期には年間90万本近い和傘が生産されましたが、近年は作り手の減少で希少な存在となりました。市民有志で「美馬和傘製作集団」を立ち上げ和傘作りに日々奔走しています。手作りの和傘1つ1つには風情が漂います。「美馬市伝統工芸体験館 美来工房」では、その技法を活かし、手軽に楽しめる「和傘ランプシェードづくり」が体験できます。

SUSTAINABLE



オデオン座

昭和9年に建てられた西洋モダン風の芝居小屋。歌舞伎や浪曲で戦前に栄え、戦後は歌謡ショーや映画上映で地域の憩いの場として親しまれました。映画「虹をつかむ男」(山田洋次監督)のロケ舞台となり、平成11年に修復され一般公開。現在は芝居や映画上映、貸しホールとして市民の芸能文化の発表の場として活用されています。

NATURE



デ・レイケ公園

オランダの土木技術者ヨハニス・デ・レイケが設計した砂防堰堤が、吉野川支流の大谷川に存在します。地元では「デ・レイケの堰堤」として親しまれ、隣に整備された公園にはオランダの象徴である風車があります。4月には約15,000本のチューリップが咲き誇り、オランダの雰囲気を楽しむことができます。

NATURE



あんみつ館

洋らん(シンビジウム)の育種と種苗生産において全国シェアの約80%を持つ(株)河野メルクロンの一般見学者を対象にしたショールーム兼直売所。シンビジウムの開花最盛期(11月末~3月)には、まさしく百花繚乱。館名の由来ともなった、シンビジウムの女王「あんみつ姫」や、シンビジウムの王様「マリーローランサン」、「プリンセスサコ」、「親王」などの人気品種が甘い香りを漂わせています。

SPIRITUAL



美馬の寺町

町の一角に広がる寺町エリア。千年以上の歴史が刻まれた「段の塚穴」や「郡里鹿寺跡」など、様々な時代の史跡や寺院が建ち並びます。堂々たる山門、釈迦をもつ寺がいくつも並ぶ様は、まさに古都のおもかげ。寺町公園では、6月初旬には約3,000本の花しょうぶが咲き誇り、「花しょうぶ祭り」が開催されます。古都の風情漂う中で咲く花しょうぶの美しさをお楽しみください。

